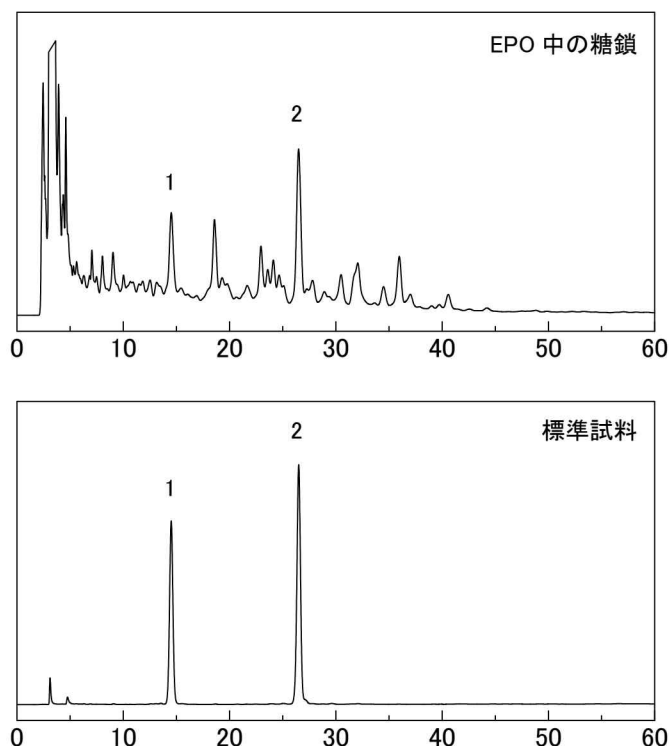


エリスロポエチン中の糖鎖の分析

Analysis of Glycans in erythropoietin

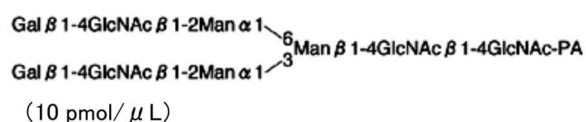
エリスロポエチン(EPO)は赤血球を作る糖タンパクで、貧血などの診断や医薬品として使用されています。EPO の糖鎖構造の違いにより活性が異なるため、EPO 中の糖鎖を分析することが重要です。

ここではヒト組み換えエリスロポエチンを加熱変性させ(100℃×10min)、Lys-C(37℃×一晚)でペプチド断片にし、Glycopeptidase F(37℃×一晚)でペプチドから糖鎖を切り出した後、酸加水分解により糖鎖からシアル酸を遊離後、Blot Glyco(住友ベークライト社製)で精製と2-アミノピリジンで誘導体化し、これを試料としています。

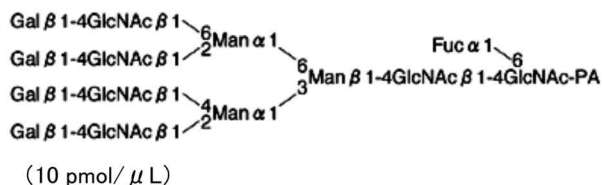


Sample :

1.



2.



このアプリケーションデータは、CERI 安全性評価技術研究所にて取得しました。
これらに関する受託分析もご相談ください。

Fig. Chromatogram of Glycans in erythropoietin.

【Analytical conditions】

Column: **L-column2 ODS**(C18, 3 μ m, 12 nm) 2.1 mmI.D. × 150 mmL.
Mobile phase: A/B, 20/80→50/50(0→60 min)
A: 10 mM Phosphate buffer pH 4.4/1-Buthanol(995/5); B: 10 mM Phosphate buffer pH 4.4
Flow rate: 0.2 mL/min
Temperature: 55℃
Detection: FL: Ex 320 nm; Em 400 nm
Injection volume: 2 μ L
System: ProminenceUFLC+RF20Axs(Shimadzu Co.)